

教育理念 「高い志 科学する心 未来を拓く力」



ローレル



県立日立第一高等学校  
附属中学校  
学校だよりNo. 72  
平成30年2月6日  
生徒数238名

教育目標：豊かな人間性と高い知性を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成する。



2月 タブレット

校長 村田 一弘

皆さんも使ったことがあるかもしれませんが、現在、日立一高・附属中にはタブレット型端末が約40台あって、昨年度からタブレット端末を使った授業方法の研究をしています。

ところでタブレットというと何を思い浮かべますか。お父さんお母さんの世代なら、薬の錠剤を思い浮かべると思いますが、皆さんはどうでしょうか。タブレットは、もともと、小さな板状のものという意味で、紀元前3000年頃にメソポタミア（シュメル文明）で使われていた、くさび文字を用いて物事を記録する粘土板が、タブレットだったそうです。

タブレットには様々なことが記録されていましたが、その中には取引の記録というのがありました。メソポタミアには、すでに国家が管理するトークンという貨幣があり、物々交換ではなく、貨幣を使った取引が行われていました。そして取引の証拠を、タブレットに記録していたのです。粘土板が固くなってしまえば、書き換えが不可能なので、証拠品としては非常に優れていたのです。

先日、コインチェックという仮想通貨取引所が1月26日にサイバー攻撃を受けて約580億円分の仮想通貨NEM（ネム）を流出させたという事件がありました。仮想通貨の世界では、ブロックチェーンという技術が使われています。これは、一定期間の取引のデータを一つの塊（ブロック）として記録し、それを鎖（チェーン）のようにつなげていくことで、ネットワーク全体に取引の履歴を保存し、第三者が容易に改ざんできないようになっているのです。このブロックチェーンは、まさに現代版のタブレットといえます。最先端技術のルーツが紀元前3000年にあったなんてすごいことだと思いませんか。

さて、話を戻して、本校のタブレット端末ですが、研究を進めていくうちに、授業でタブレット端末を使う本当の意味が分かってきました。それは、授業の仕方を変えるということです。先生の話を聞いて、黒板の内容をノートに写すという受け身の授業では、タブレット端末を使うメリットはあまりありません。しかし、これから主流となる、みんながいろいろなことを調べたり考えたりして発表をするような授業では、それぞれの生徒が持っているノートの内容は別ものになります。その時に、タブレット端末をノートの代わりに使えば、友達のノートの内容も瞬時に共有することができます。また、質問をLINEのようなもので行えば、質問した生徒だけでなく、グループのメンバー全員がそのやり取りを共有できます。情報を共有することによって、ひとりで勉強したときに比べて、より多くの情報にふれたり、いろいろな見方・考え方ができたりして、より深く学ぶことができるというのがタブレット端末を使う最大のメリットのようです。

近い将来、日立一高附属中学校でも、生徒に一人一台タブレットを持ってもらう日が来ると思います。予算等のハードルが高くて、なかなか、すぐに始めるというわけにはいきませんが、皆さんには、予習をして自分が調べたことを積極的に発言したり、わからないことを授業時間内に質問したりして、アナログな方法で「情報の共有」を実現し、メリットの先取りをして欲しいと思います。



☆科学部サイエンスショーで大活躍！

1月28日（日）に、日立シビックセンター科学館で、サイエンスショーが開催されました。今年も科学部が出演し、大活躍しました。先輩からの伝統を受け継ぎ、劇仕立てで科学実験を披露しました。会場に訪れたちびっ子をはじめ、多くの観客を楽しませてくれました。



☆2年生「いばらきっ子郷土検定県大会」準優勝！

2月3日（土）に、県民文化センターで、第5回いばらきっ子郷土検定県大会が、茨城を代表する多数の来賓やゲストを招いて、盛大に開催されました。本校は、県立・国立・私立中学校の代表として出場し、県内44市町村の代表校と対戦しました。1回戦（5チーム中、1位のチームのみ2回戦（準決勝）進出）では敗れたものの、見事敗者復活を果たし、準決勝へと駒を進めました。その準決勝では、とんとん拍子に勝ち進み、決勝戦に挑むこととなりました。決勝戦でも、優位に進めていましたが、優勝したつくば市立桜中学校にタッチの差で敗れ、準優勝となりました。素晴らしい戦いぶりでした。（チームのメンバー：2年 細江莉央さん、清野瑛大さん、池上直希さん、田中肇さん、石川海音さん）



放課後の練習の様子

決勝進出を決めてのインタビュー

県教育長による準優勝表彰

また、3年生もこれまでに放課後の練習を手伝うなど、当日の応援まで精一杯2年生を支えてくれました。大会を終え、帰り支度をしているとき、3年生の一人に、いつも通りのパンパンに膨らんだスクールバックのことを聞くと、お弁当箱も入っているけど、勉強道具も入れてきたとのこと。さらに聞くと、電車やバスを待つ時間ができたときに勉強できるように準備してきたとのことでした。時間を無駄にしない素晴らしい姿勢であると感心しました。きっと多くの附属中生が同じような準備をしているのかとも思いました。日々の生活の中で努力する過ごし方の積み重ねが「高い志」を確かなものへと育てていくことと思います。

◇ 来月（3月）の主な予定 ◇

1日（木）代休日(2/24分) 高校卒業証書授与式	13日（火）自宅学習、入学者選抜判定会議
5日（月）高校学力検査準備	16日（金）卒業証書授与式
6日（火）自宅学習、高校学力検査	18日（日）シンガポール語学研修～22日
7日（水）自宅学習、高校特色選抜面接	21日（水）春分の日
8日（木）自宅学習、高校学力検査採点	22日（木）終業式、表彰伝達式
9日（金）3年高校進学レディネステスト	4/3（火）離任式、4/6（金）始業式
	4/9（月）入学式、新入生保護者会